**第３学年１組　算数科学習指導案**

**１　題材名**　キロメートル

**２　本時の学習指導**

　（１）目標

　　○道のりを長さの単位kmを用いて表すことができるようになる。（数量や図形に対する技能）

　（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| １　通学路を用いて、本時の学習内容を理解する。  　C１　１０ｋｍくらいかな。  　C２　距離は分からないけど、３０分くらいかかるよ。  ２　「道のり」の用語とその意味を理解する。  　C１　家から学校までの道順かな。  　C２　道の長さかな。  ３　ｍを使って道のりを求める。  ４　ｋｍについて理解する。  ５　１ｋｍは１００ｍの何倍であるか求める。  ６　りささんの家から本屋への道のりを求める。  ７　本時の学習に対するまとめを行う。 | ○家から学校まで、どのくらい遠いか発問することで、距離について学ぶことを理解できるようにする。  ○時間は手段によって変わるため、普遍的な距離が大切であることを伝えることで、距離について学ぶ必要性を感じ、進んで授業に取り組むことができるようにする。  ｋｍ（キロメートル）を使って、道のりを求めよう。  ○児童に「道のり」を説明させ、クラスで確認することで、意味を考えることができ、より理解を深めることができるようにする。  ○教科書ｐ１１６の図をモニターに映し、道のりを求めさせることで、「道のり」を理解することができるようにする。  ○３の答えが大きいため、ｋｍを使うときれいに表せることを伝えることで、必要性を感じることができるようにする。  ○３の答えを長さの単位ｋｍを使って求めさせることで、ｋｍを利用し、知識の定着を図ることができるようにする。  〇１ｋｍ、１０ｋｍを日常の生活と絡めておおよその大きさを理解する。  ○単位の異なる値を比較させることで、ｋｍをｍに表すことができるようにする。  ○例題を解かせることで、道のりをｋｍで表す式の書き方を理解することができるようにする。  評道のりを長さの単位kmを用いて表すことができる。  （数量や図形に対する技能）  ○本時の学習内容を振り返り、道のり、ｋｍについて説明をさせることで、学んだことを確認できるようにする。  ○次時の予告を行う。 | １０’  ５’  ５’  ５’  ５’  １０’  ５’ |

**６　板書計画**

ｋｍ（キロメートル）を使って、道のりを求めよう

1000mを1キロメートルといい1kmと書く。

りささんの家から本屋までの道のりは何km何mでしょう。

900+400=1300

1300m=1km300m

答え　1km300m

○1400m=　1km　400m

○1kmは100mの10倍

　1km=1000m

↑10倍

100m

「道のり」とは

道にそってはかった長さ

ｋｍ（キロメートル）を使うことで、道のりを分かりやすく求められる。

りささんの家から市役所までの

道のりを調べよう。

800+600=1400 1400m

**７　備考**　在籍児童数　３５名